

まってるすけ高柳

～交流観光の原点「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりのプログラム～

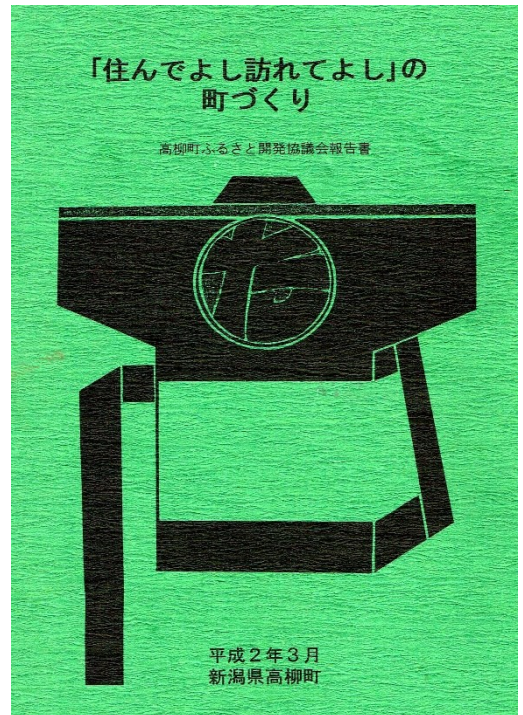
「高柳町ふるさと開発協議会報告書」を読み解く

☆「これまでの30年、これからの30年」

新潟県指導農業士 鈴木 貴良

〇かれこれ30数年前、町を挙げて町おこしの話し合いや、集まりがたくさんありました。それぞれの未来を決する一大事と言うこともあって、熱量も、意識も高まっていた時代でした。そう言った集まりに参加すると、必ずと言っていいほど延長戦となり、町内の飲食店に繰り出し白黒付かない話で盛り上がっていたことを覚えています。そんな飲み話の中で、NHKの番組の影響か「相対性理論」の話題がよく出てきました。なぜ地域おこしの話がそこまで発展するのか不思議でなりませんでした。しかし最近「量子力学」という言葉をよく聞くようになり、調べてみるとその謎を解くおもしろいことに気がつきました。「量子力学」についてはここで語り尽くせないのでざっくりと割愛させていただきますが、興味がある方は是非調べてみて下さい。

〇キーワードは「意識が現実を作る」です。地域おこしがうまくいく方程式はないと昔誰かに言われたことがありますが、どうやらその昔語り合った「相対性理論」はむしろ必然的であったのかもしれない。だとすると今度は「量子力学」を肴に、膝付け合わせ、酒酌みかわしながらこれからの30年を語り合うこと、超アナログかもしれませんが実は超最先端の未来づくりになるのかもしれない。



7月29日

夜なべ討論会

提言

ご案内

夜なべ討論会 というのは、高柳町ふるさと開発協議会の助言者である各分野の専門家のみなさん(20年から一世代余り、よそ者の顔で高柳を愛する思いを持った皆さんをのぞいて)「こうすれば高柳でくえる」というような確れもが関心のあるテーマに各先生がごいごい、福井では思いもよらないような提案が、どしどし出てくるように、聞きに行こう!の声を掛け続けていたのだいて、多数決いでください。

7月29日(土) 夜 8:00 ~
町民総合センター三階

(1月29日町民フォーラム風景)

助言者側からの提言

話ししてくださる人

- 家庭生 貴良さん (社会福祉学専攻)
- 小原 貴志さん (第一高等学校 協議会委員)
- 藤原 貴志さん (「農林大学工学部工学部」)
- 丸山 貴志さん (ワーキング・プロジェクト)
- 山内 貴志さん (住・日本建築設計事務所)
- 前橋 貴志さん (協議会副会長)
- 鈴木 貴志さん (協議会事務局長)

司 会

- 村田 貴志 (高柳町ふるさと開発協議会副会長)
- 高柳 貴志 (新潟大学工学部教授)

(注、懇話会が催しとなりますので、乗り合いはお願いいたします)
ご協力をお願いします。

主催 **高柳町ふるさと開発協議会**
(事務局 役場総務課 441-2238)

こうすれば高柳でくえる

裏面もあります。→